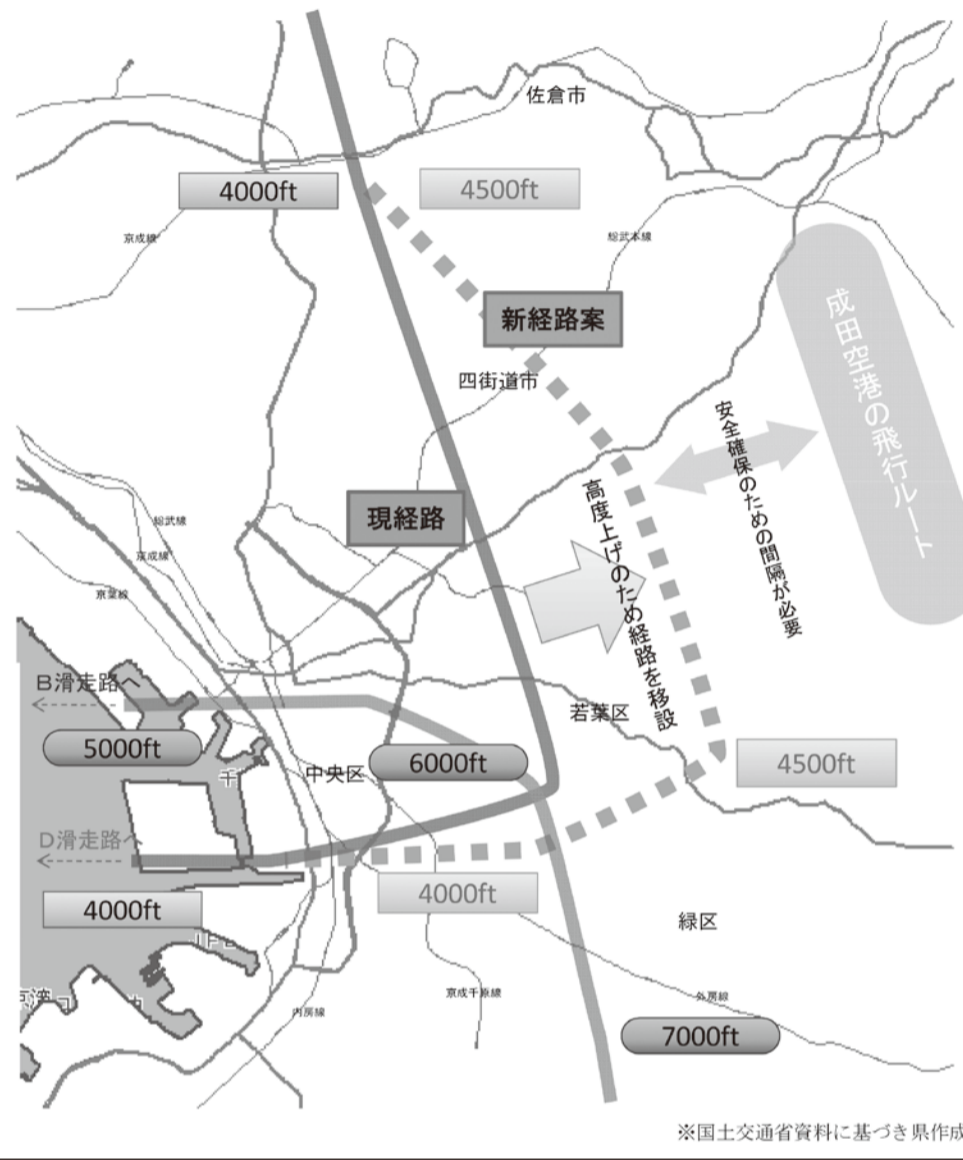


# 羽田発着便倍増!! 騒音だけ 千葉県が受けてはならない

### 南風好天時における北側ルート的高度引き上げ検討案



前号に引き続き、羽田空港騒音問題について、総合企画水道常任委員会において質問をしました。

【ほんま進】 これまでの常任委員会では、地元の課題として何層も取り上げてきた羽田の騒音軽減について伺いたい。空港地域振興課長の答弁が、次の通りでした。

羽田空港の航空機騒音の苦情件数について、県全体として今年度に入り8月末時点では404件で、昨年同時期と比較すると、昨年が628件であったことから、減少傾向にあると考えます。

特に、千葉県上空における南側ルート的高度引き上げということで、千葉市に關して申し上げますと、本年度206件、昨年度407件です。

このように状況の中、県内では6月議会で「県内市町村では特設の動きがない」との答弁であったが、その後、千葉市がIRの実現に向けた研究を進めるための調査を行うこととなった。IRに対しては、こういった流れに遅れないよう、何としても千葉県におけるIRの導入を実現するよう汗をかいてほしい。

【ほんま進】 こういった内容を踏まえて、政策企画課長に伺いたい。千葉市におけるIR導入の動きに対して、どのようなスタンスで臨むのか。

政策企画課長は、観光や地域経済の振興が期待できることから、導入の可能性について幅広く検討することと、大切であると考えています。

IRの導入は、地元市民の意向や住民の理解が第一だと思っております。千葉市には、調査結果をもとに、広く議論していただきたいと思っております。

県としては、千葉市におけるIR導入の動きについて、7件です。この高度引き上げの試行運用に係る効果もあるものと思われ、今年度は7月、8月の悪天候により、千葉市上空を通過する航空機が、昨年と比較すると約2割程度減少したことも影響したものと考えます。従って、引き続き、北側ルート的高度引き上げなどの騒音軽減策が必要だと考えています。

【ほんま進】 確かに、今年度は悪天候などにより、私の感覚でも、千葉市上空の飛行回数が少なかったが、飛び始めるものと、絶えず状況が続く、そこで、南風好天時の飛行ルートについて、国土交通省に求める高度引き上げの状況は、どのようになっていくのか伺いたい。

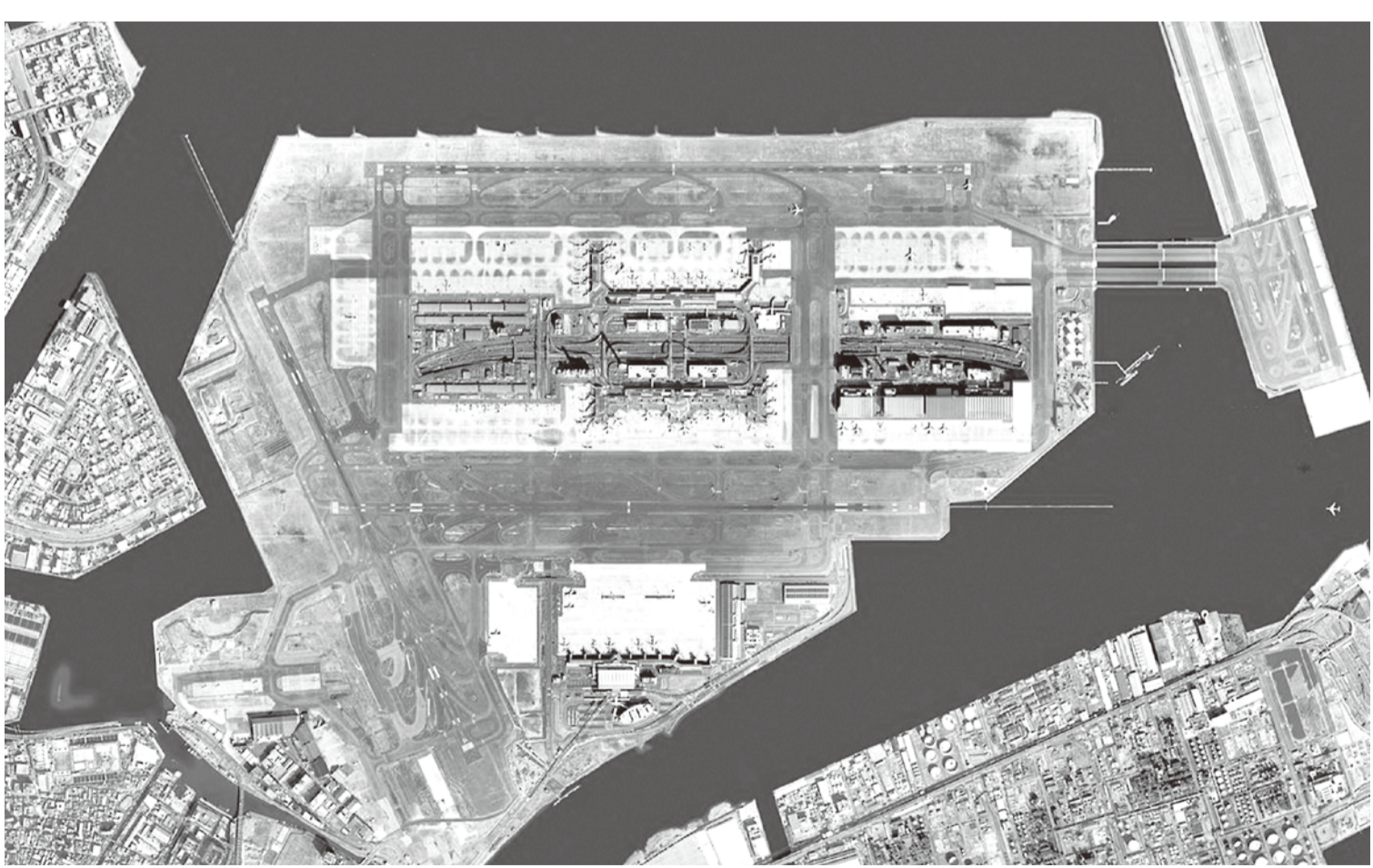
空港地域振興課長から、南風の飛行ルートについて、現在、試行という形で運用しています。これを引き続き11月14日から本格運用に移行するとの見込みです。北側ルート的高度引き上げについて、この時期に合わせて、国は本格検討に着手するとしていますが、私どもとしては、北側ルートについても、早く高度引き上げが実現するよう、検討の前置きを要請しています。従って、11月14日から本格的に検討するものとして、それより早く検討するよう、国に働きかけを強めています。例年、25市町村の連絡協議会は、秋は11月上旬に行っていますが、この時期までに北側ルートの具体的な高度引き上げ方を指示してもらいたいと考えています。

【ほんま進】 要望 南側ルート引き上げに続いて、北側ルートについても、早く高度引き上げの方策を進めるよう、引き続き、国に対して、強く働きかけてもらいたい。

また、国は、2020年度の東京五輪開催決定を受けて、首都圏空港の更なる機能の検討に着手しているとの見込みが、羽田空港を騒音する国際線が、来春大幅に増便することとなる。深夜早期以外の利用しやすい昼間時間帯の現在の1日32便が63便に倍増し、そうである、欧州便も新たに飛ぶようになり、また、2国間交渉で未決着のアメリカ方便

や夜間の便も入り、95便と成田の4割近くも入る。更には、羽田にももう一本の滑走路を計画検討している。騒音だけ、公害だけ千葉県が受けて、東京が一人勝ちになるといふこと

にならないように、東京には横田基地があるから、もう飛ばすなど、東京の上空も飛ばすか、そういった形もすっかりやっつけたい。騒音の軽減が進むこともなく、羽田空港の発着便を更に拡大することは、



羽田空港の航空写真

到底認められることにはなく、これまで以上に、県はもっと引き続き強い姿勢で国に対して臨んでもらうよう要望する。

# 2020年 東京五輪 効果享受を!!

平成25年10月15日総合企画水道常任委員会で発言しました。

【ほんま進】 先日、2020年における東京五輪の開催が決定された。これを契機として、東京五輪に合わせたIRの整備も現実的なものになってきたと思う。

千葉県はまさに五輪の会場である「お台場」にIRを整備しようとする。2020年に向けた東京都の意向は、先日開催された国体の開会式でも明らかだ。

また、国では、臨時国会に、IR推進法案を提出する動きがあると聞いている。これは、参院選前からの動きであり、まさに満を持しての提出となるのではないかと、今期は短気な気がする。海外に視点を置いた施策を打ち出している安倍政権での推進が期待される。

【ほんま進】 以前、安倍総理のカジノは「メリットも十分にある」という答弁が8月8日衆議院予算委員会でも発言をされてい

る。このような状況の中、県内では6月議会で「県内市町村では特設の動きがない」との答弁であったが、その後、千葉市がIRの実現に向けた研究を進めるための調査を行うこととなった。IRに対しては、こういった流れに遅れないよう、何としても千葉県におけるIRの導入を実現するよう汗をかいてほしい。

【ほんま進】 こういった内容を踏まえて、政策企画課長に伺いたい。千葉市におけるIR導入の動きに対して、どのようなスタンスで臨むのか。

政策企画課長は、観光や地域経済の振興が期待できることから、導入の可能性について幅広く検討することと、大切であると考えています。

IRの導入は、地元市民の意向や住民の理解が第一だと思っております。千葉市には、調査結果をもとに、広く議論していただきたいと思っております。

県としては、千葉市におけるIR導入の動きについて、7件です。この高度引き上げの試行運用に係る効果もあるものと思われ、今年度は7月、8月の悪天候により、千葉市上空を通過する航空機が、昨年と比較すると約2割程度減少したことも影響したものと考えます。従って、引き続き、北側ルート的高度引き上げなどの騒音軽減策が必要だと考えています。

【ほんま進】 確かに、今年度は悪天候などにより、私の感覚でも、千葉市上空の飛行回数が少なかったが、飛び始めるものと、絶えず状況が続く、そこで、南風好天時の飛行ルートについて、国土交通省に求める高度引き上げの状況は、どのようになっていくのか伺いたい。

空港地域振興課長から、南風の飛行ルートについて、現在、試行という形で運用しています。これを引き続き11月14日から本格運用に移行するとの見込みです。北側ルート的高度引き上げについて、この時期に合わせて、国は本格検討に着手するとしていますが、私どもとしては、北側ルートについても、早く高度引き上げが実現するよう、検討の前置きを要請しています。従って、11月14日から本格的に検討するものとして、それより早く検討するよう、国に働きかけを強めています。例年、25市町村の連絡協議会は、秋は11月上旬に行っていますが、この時期までに北側ルートの具体的な高度引き上げ方を指示してもらいたいと考えています。

【ほんま進】 要望 南側ルート引き上げに続いて、北側ルートについても、早く高度引き上げの方策を進めるよう、引き続き、国に対して、強く働きかけてもらいたい。

また、国は、2020年度の東京五輪開催決定を受けて、首都圏空港の更なる機能の検討に着手しているとの見込みが、羽田空港を騒音する国際線が、来春大幅に増便することとなる。深夜早期以外の利用しやすい昼間時間帯の現在の1日32便が63便に倍増し、そうである、欧州便も新たに飛ぶようになり、また、2国間交渉で未決着のアメリカ方便

千葉県議会は10月22日、統合型リゾート(IR)の整備を推進する決議を賛成多数で可決しました。

IRは国際会議場や展示会場、カジノ、ショッピングモールなどを含む複合施設。2020年の東京五輪を意識し、超党派により賛成。IR整備の意義が「千葉の活性化の起爆剤として極めて有効」と判断し、ほんま進が提案し、可決されました。

併せて、IR推進法案の早期実現に関する意見書も可決され、国に対して、法整備や国民の理解を得る対策を講じた制度設計を急ぐよう求めました。

【ほんま進】 けるIR導入の可能性と課題に関する研究に対し、情報提供や意見交換など、必要に応じて対応していきたいと考えています。

【ほんま進】 東京五輪の開催が決まり、今後、IRの整備に向けた動きが加速することが予想される。

県からは「まだ、状況が整っていない」といった声をよく聞かれます。こういったのは、ある程度先を踏んだ、仮定的な取組を先にと、逆にもともと、東京五輪には勝てないのではないか、東京都はすでに「お台場」として、IRの導入に向けた検討内容が見えてきてから適地を探すのでは間に合わないのではないか、と、今ある情報をもとに、適地を絞った上で検討を進めなければならない時期にきているのではないかと、また、そもそも幕張新都心における整備については、何伺いたい。

政策企画課長から、IRについては、いまだ日本においてどのような形で整備されるのか、政府により明らかになるのか、政府による数、広さ、立地にかかわる規制なども示されており、

【ほんま進】 IRを進めるに当たっては、地元住民の理解や協力が不可欠であると考えています。このためには、住民への説明が重要になると考えています。現状では、制度が具体化されていないことから、そもそも説明する材料がない状況にあります。

【ほんま進】 要望 千葉県では、IRの導入は、まず国の方針をきき、見極めることが重要と考えています。今後、政府における検討が行われ、全体像が具体化された後に、幕張新都心における整備も含め、適切に対応を検討してまいりたいと考えています。

【ほんま進】 要望 現在、全国でも多くのIR誘致に向けて動いている。特に大阪はこの状況下でも

いろいろな面で、一歩一歩積み上げている。ある程度明らかになってから検討する、というのが、完全に乗り遅れてしま

IRの誘致に、千葉県が乗り遅れるのではないかと、県内には不安である。県には、これまで以上にアンテナを高く張って、すぐ動けるように、準備すべきことはあらかじめ準備し、完全の体制をとっていただきたい。

千葉県が東京都を巻き込むようにしなければならぬ。千葉県では、IRの導入は、まず国の方針をきき、見極めることが重要と考えています。今後、政府における検討が行われ、全体像が具体化された後に、幕張新都心における整備も含め、適切に対応を検討してまいりたいと考えています。

